

2020年11月13日

各 位

会 社 名 株式会社ジェイエスエス
 代 表 者 名 代表取締役社長 藤木 孝夫
 (コード番号:6074)
 問 い 合 わ せ 先 常 務 取 締 役 田 原 富 夫
 T E L 06-6449-6121 (代表)

**特別利益及び特別損失の計上、2021年3月期第2四半期業績予想との差異並びに
 通期業績予想の修正に関するお知らせ**

当社は、2021年3月期第2四半期において、特別利益及び特別損失を計上いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。また、2020年8月11日に公表した2021年3月期第2四半期累計期間（2020年4月1日～2020年9月30日）業績予想と本日公表の実績値との差異並びに通期業績予想の修正に関しても、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 特別利益の計上について

新型コロナウイルス感染症にかかる雇用調整助成金等の支給申請の実施により雇用調整助成金等184,637千円を特別利益として計上いたしました。

2. 特別損失の計上について

新型コロナウイルス感染症に対する政府、自治体からの各種要請等を踏まえ、店舗の臨時休業を行ったことから臨時休業期間中に発生した固定費（人件費・地代家賃・減価償却費等）を新型コロナウイルス感染症による損失として522,445千円を特別損失に計上いたしました。

なお、第1四半期（2020年4月～6月）中の休業期間における損失額についても、同感染症の影響において合理的な金額の算出ができず、第1四半期決算に織り込むことが困難であったことから、当第2四半期決算に損失額を計上しております。

3. 2021年3月期第2四半期累計期間業績予想と実績値との差異（2020年4月1日～2020年9月30日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四 半 期 純 利 益	1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	百万円 2,811	百万円 △684	百万円 △685	百万円 △497	円 銭 △128.14
実 績 値 (B)	2,763	△85	△83	△321	△83.18
増 減 額 (B - A)	△48	599	602	176	—
増 減 率 (%)	△1.7	—	—	—	—
(参 考) 前 期 実 績 (2020年3月期第2四半期)	4,421	256	255	169	43.42

4. 当社の業績予想数値の修正（2020年4月1日～2021年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 6,605	百万円 △785	百万円 △784	百万円 △594	円 銭 △153.10
今回修正予想（B）	6,605	△265	△264	△498	△128.40
増減額（B－A）	0	520	520	96	－
増減率（％）	0.0	－	－	－	－
（参考）前期実績 （2020年3月期）	8,480	374	390	185	47.86

（1）2021年3月期第2四半期累計期間業績予想と実績値との差異

当社におきまして2021年3月期第1四半期は、緊急事態宣言に伴う休業要請や地域の小学校の休校などに準じ、全国の事業所で営業の縮小や休業を余儀なくされ、この期間の売上減少、固定費負担は業績に甚大な影響を及ぼしました。

しかしながら、緊急事態宣言解除後は順次営業を再開の上、6月には全事業所で営業再開し、前期に比べ大幅な増加の懸念もあった退会者につきましても、会員様と細やかなコミュニケーションを取ることで微増にとどめる事ができたことから、当第2四半期における売上高については、概ね計画通りに推移しました。

利益面につきましては、上述のとおり特別利益及び特別損失を計上したことにより、営業利益、経常利益、当期純利益が予想を大きく上回りました。

（2）2021年3月期通期業績予想修正の理由

通期の業績への影響につきましては、売上高は前回発表の業績予想値を見込んでおります。利益面につきましては、上述のとおり特別利益及び特別損失を計上したこと、その他の費用については概ね計画通りに推移すると予想することから、営業利益、経常利益、当期純利益のいずれも前回発表の業績予想値を上回る見込みとなりました。

なお、今後の新型コロナウイルス感染症の状況等により事業環境が変化し、業績予想の修正が必要となった場合には速やかに開示いたします。

以 上